

令和7年度
事業計画

社会福祉法人 南野育成園

【経営理念】

職員が楽しく働き、幸せを実感できる職場とする。
子どもの最善の利益を構築し、地域に貢献する。

【運営理念】

家庭で育つことができない子どもたちの心情に寄り添い、
「正直・勤勉・感謝」をモットーに自立した社会人としての成長を支えます。

【基本方針】

主役は子どもです

子どもが本来持っている成長する力に寄り添います。

地域とともに歩みます

地域への子育て支援や、活動に積極的に取り組みます。

職員とともに成長します

自らを高めながら子どもたちの心に届く支援を行います。

1. 運 営 目 標

(1) 『子どもとともに』を大切にする

職員と子どもが一緒になって物事を決めるようにし、子どもの意見が反映されるようにします。そして、子どもたち一人ひとりの幸せを実現するという目標に向かって、職員がしっかりと連携します。

(2) 子どもの成長を信じる

日々の生活の中で、私たち職員は子どもの言動の奥にある想いをしっかりと受け止めます。子どもがきちんとすることではなく、子どもが子どもらしくあるという視点が持てているかを絶えず振り返りながら、子どもは必ず成長していくことを信じます。

(3) 豊かな感性を育む

子どもたちは、大人と過ごす時間の中で、目には見えない心と心のつながりを学んで成長していきます。本当に大切なものは子どもたちとの何気ない生活の中にあります。そのような日々の積み重ねこそが、子どもたちや私たち職員の感性を豊かにしてくれます。

2. 重点項目

(職員アンケートより抜粋)

1. 社会的養育の推進に向けて

- ① 小規模化に向けた取り組みは、職員全体で共有しつつ検討を進めていく。
- ② 施設の高機能化、多機能化に向けた対策を常に検討する。
- ③ 特性を持った子ども一人ひとりに合わせた支援を行う。
- ④ 保護者に学校行事等の連絡をし、子どもとの交流ができる機会を作る。
- ⑤ 家庭支援、里親支援専門相談員と連携し、スムーズな支援継続に努める。
- ⑥ 地域行事に参加して、地域の方々との交流を図る。

2. 子どもの権利擁護

- ① 普段からの会話を大切にして、子どもの意見や要望を把握する。
- ② 子どもから出た要望にはスピーディーに対応する。できない場合には、その理由を伝える。
- ③ 大人の都合で制限をかけないようにする。
- ④ 子ども会・リーダー会において行事の反省と見直しをする。

3. 自立に向けた支援

- ① 子どもがいろいろな経験ができるように、職員がきっかけを作る。
- ② 自立支援担当職員と連携しながら、子どもを交えて話しをする。
- ③ 困った時に相談できるスキルを身につけさせる。
- ④ 該当する子どもには、自立に向けた一人暮らし体験をさせる。

4. 人材の確保と育成

- ① 実習生が将来の人材となる意識を持って丁寧な対応をする。
- ② SNS での発信、養成校との連携により求人を確保する。
- ③ 普段からコミュニケーションをとり、職員相互の信頼関係を築く。
- ④ 勤務年数に応じた研修等に参加し、職員全体で自己研鑽に努める。

3. 職 員 構 成

(令和7年4月1日)

職種	施設長	副園長	児童ホーム長	統括主任	児童指導員	保育士	個別対応	家庭支援	里親支援	自立支援	心理療法	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	合計
男	1	1	1	1	4		1		1						1 (1)	11 (1)
女					14	7 (2)		1		1	1	2	4 (2)	2		32 (4)
合計	1	1	1	1	18	7 (2)	1	1	1	1	1	2	4 (2)	2	1 (1)	43 (5)

※ () 内は非常勤職員を再掲

4. 児 童 構 成

(令和7年4月1日)

【本 園】＋【地域小規模児童養護施設】定員57名

	日中保育		こども園		小学生						中学生			高校生			高卒	合計
	2 歳	3 歳	年少	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	0	1	2	1	0	1	1	4	0	2	2	1	0	4	2	0	0	21
女	1	0	0	1	1	4	4	0	1	1	1	1	1	5	2	0	1	24
小計	1	1	2	2	1	5	5	4	1	3	3	2	1	9	4	0	1	45
合計	2		4		19						6			13			1	